

彼方小だより

児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和4年6月号

「夏の始まり」

校長 藤井 貞彦

朝夕はまだまだ過ごしやすいですが、日中は夏のような暑い日が続いています。早くも1学期の折り返しを迎えました。ありがたいことに各学年とも順調に行事をこなし、学年としての集団づくりを進めているところです。今月には5年生の臨海学舎や田植え体験、6年生の校外学習などを予定しており、着々と準備を進めているところです。

さて、先日のことです。いつものように登校指導をしていると、前方の道路に大きなミミズのようなものが見えました。近づいて見てみると小さな「シマヘビ」でした。自動車に踏まれたのでしょうか、もうすでに死んでいました。一緒に歩いていた低学年の子が「このまえ〇〇くんがヘビを捕まえてみたいやで。」と教えてくれました。すると、「私も田んぼの近くでヘビ見たわ。」「溝のところにおったで。」「ヘビがカエル食べてるとこ見たことあるわ。」・・・

次から次へとヘビの目撃情報（ヘビ自慢？）が。「そろそろそんな時期なんやなあ」と思いながら、子どもたちには「みんなよう見てるな～。でも、毒のあるヘビもおるから、むやみに近づいたらあかんで。」と注意をしておきました。

また、別の日には「校長先生、見て！」と低学年の男の子がうれしそうにザリガニを持ってきました。ぐったりとしていたので、「ありがとう。でも、弱ってるみたいやから逃がしてあげような。」と言って、中庭の方に目をやると池の周りに子どもたちが集まっていました。一人が身を乗り出して水の中に手を突っ込んでいました。「危ないから見るだけにしときや。」と注意をした直後でした。池の縁石の上にいる男の子が足を滑らせて池に落ちてしまいました。幸い服が濡れただけでケガもなかったのですが、転んで頭を打ったりしたらと思うとゾッとしました。（その後は池に手を伸ばしている子がいると、上級生が「危ないから見るだけにしときや。」とやさしく注意してくれています。）

夏も近いこの時期は、いろいろな生き物が姿を現します。生き物に興味を持つことは素晴らしいことです。しかし、毒を持った生き物や危険な生き物も少なくありません。

また、校区（特に通学路周辺）には用水路や、田んぼの脇の道路など、水の事故の危険と隣り合わせの場所がたくさんあります。学校では、子どもたちの興味関心を大切にしながら、命を守るための「安全教育」もしっかり進めています。地域の皆さんも登下校時の声かけをして下さっています。ご家庭でも子どもたちへのご指導をよろしくお願い致します。

先日お知らせしましたが、今年は3年ぶりにプールでの水泳指導を実施します。感染症対策で密を避けるため、今まで通りとはいきませんが、今できる事にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。子どもたちの「安全」と「笑顔」のために、ご家庭でも体調管理・持ち物の準備等、ご理解ご協力をお願い致します。